

第3回衛星測位に関するワーキンググループ 議事要旨

1 日 時

令和7年3月21日（金）10:00～10:40

2 場 所

オンライン会議（Teams 会議）

3 出席者

(1) 委 員

中須賀座長、白坂委員、片岡委員、小暮委員

(2) オブザーバ

日本経済社会推進協会・坂下常務理事、海上・港湾・航空技術研究所・坂井領域長、中部大学・海老沼教授、東京海洋大学・久保教授、宇宙航空研究開発機構・瀧口理事、東京大学・五十里准教授、麗澤大学・柴崎副学長

(3) 事務局（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）

三上参事官、長谷参事官、岸本企画官

4 議事要旨（○：意見等）

(1) 準天頂衛星システム「みちびき」の今後の推進について

事務局から資料1に基づいて説明が行われ、委員から以下の意見があった。

- MGA 等における、衛星測位システムを保有する各国の発表や開発動向の把握を踏まえ、協調領域と競争領域を切り分け、日本として今後どうプレゼンスを示しつつも、世界をリードできるか、検討していく必要がある。
- 現状では、衛星測位分野における、府省庁ごとの研究開発分担が、あいまいになってしまっているので、今後どう進めていくかも含め、ロードマップにまとめるなど検討していく必要がある。
- 取組方針2025には、世界的にも重要性が注目されているPNT（位置、航法、時刻）について、データを得られる環境を整備することが国家として取り組むべきであること、それを支えるツールの一つとして「みちびき」があるということ、また利活用においてはアプリケーションやシステムでの国際標準に取り組む必要性があることについて触れて頂きたい。
- 日本における全般的なPNTの扱いについて、引き続き地理空間情報活用推進室（G空間室）等とのコミュニケーションを取っていくべき。

以上